

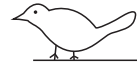
各店舗感染症対策を徹底し営業しています。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第147号

発行2021.10.17

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより



スマイルカフェとリサイクルショップくれよん 【感染症対策を徹底し営業しています】

全国で緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されました。これまで安全対策強化のため、スマイルカフェ、リサイクルショップくれよんにおいて営業時間変更や臨時休業、一部サービス内容を変更した営業を行ってまいりました。皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力を賜りましたこと心から感謝申し上げます。

スマイルカフェは飲食店ということで、特に徹底した感染防止対策を実施してまいりました。そのこともあり、東京都新型コロナウイルス感染症対策本部から**感染防止徹底点検済証**の交付を受けました。引き続き安心してお寛ぎいただけますよう徹底した感染防止対策を実施し営業してまいります。季節に合わせたお飲み

物や種類豊富なパン等メニューを充実させ、皆様のご来店をお待ちしております。

リサイクルショップくれよんでは店内の配置等を変更し、感染症予防に努めて営業しております。リサイクルショップでは、探すこと、常に新しい発見や掘り出し物がある、いい物が安い、宝探しのようなたくさんの楽しみがあります。皆様の期待に応えられるよう、商品の品出しや入れ替えなど短期的に行っております。これらの商品はすべて市民の皆様の提供品あつてのことです。あらためて感謝申し上げます。

引き続きお客様や大切な方々の安心安全のため、感染予防へのご協力をお願いいたします。

※上記情報は10月1日時点のものになります。最新情報は電話やホームページでご確認ください。



スマイルカフェとリサイクルショップくれよん

【感染症対策を徹底し営業しています】

スマイルカフェは、地域の方々との交流を大切にしたい憩いの場として誕生しました。この憩いの場は、利用者と地域の皆さまとが出会い、交流を通してお互いに理解が深められる場でありたいという願いがあります。

スマイル工房は、主に心の病により生活のしづらさを抱えた方々が、作業及び仲間や地域市民との交流など、様々な活動を通じて自分らしい生き方を見つける場を提供しています。

福祉作業所スマイル工房
地域交流スペース スマイルカフェ

Smile Café

営業時間

火・木・金 曜日 13:00～15:00

東京都羽村市玉川2-10-1

☎042-578-2723

←フェイスブックページQRコード

<https://www.facebook.com/smile.cafe.hamula/>

リサイクルショップくれよんは、障害のある人もない人も共に安心して働けるお店を目標としています。障害のある方が、くれよんというお店を通して働くよろこびを感じ、地域で生きていく力をつけられることを目指しています。

当店で販売している商品は、皆様からの善意(寄付)による提供品により成り立っています。提供品につきましては、一部お取り扱いができない品目もございますので、詳しくは法人ホームページ(下記QRコード)や店頭でお問い合わせください。ご理解とご協力をお願いいたします。

福祉作業所ひばり園

リサイクルショップくれよん

営業時間

月～金 曜日 10:00～17:00

東京都羽村市富士見平2-2-14

☎042-578-2575

←ご提供品についての詳細QRコード

https://soyokaze-hamura.com/office/crayon_offering.html

福祉作業所ひばり園 就労移行支援 農作業 2年目の成果

羽村市内にある産久農園の小林様よりお借りしている畑を活用した野菜作りも2年目となりました。今回は初めて枝豆を栽培し9月上旬に収穫しました。作業時期が夏場になったことで、除草作業や収穫作業が重労働になりました。そして、収穫した作物を小分けにして、くれよんとひばり園敷地内で販売しました。

販売できたことで大きな達成感を得ることができました。購入者から「美味しかったよ」と声を掛けていただき、働くことの大変さや喜びを知ることができました。

最近では、実際に農業関係の会社への見学に結びつく利用者さんもあり農作業の成果がみえました。



種まき

板を敷いて足場を固め、手元から地面へ1mのパイプを置いて種を地面まで転がす形で種まき。少しの工夫でみんなが参加できました。



除草作業

夏場の作業なので10分毎に休憩するなど熱中症対策を万全に取り組みました。



収穫

販売に向け収穫した枝豆の選別、計量、袋詰めを行いました。選別基準の判断は難しく、慣れない作業に四苦八苦。



販売

いよいよ販売。並べ方や売り方をみんなで考えました。普段の作業訓練では経験できない接客は、利用者さんの新たな一面を知る貴重な機会に。

羽村市障害者就労支援センター エール 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会の報告

7月28日(水)に令和3年度第1回多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会が開催されました。この連絡会は多摩地域にある区市町村障害者就労支援事業を受託している31センターで定期的(年3~4回)に開催されており、毎回テーマに基づいて意見交換がされています。

今回は「コロナ禍における働き方、支援の実態や在り方についての考えを共有する」をテーマに障害者の在宅勤務(ワーク)について、検討と意見交換がされました。各支援機関からのアンケート結果では「在宅勤務は働き方の幅が広がったと言えるが、業務量が十分なものばかりではないこと」、緊急事態宣言中の在宅ワークでは「作業内容がご本人に合わないような内容に関しては会社との調整に入った」という事例も聞かれました。会の後半では班ごとに分かれてグループディ

スカッションを行い「在宅就労者への支援について」や「各センターでの取り組み(特に余暇支援)について」の意見交換が行われ、今回はオブザーバー参加として東京都福祉保健局と東京都産業労働局から障害者雇用の担当者が参加されていたので、地域の支援機関の現状をお伝えする機会ともなりました。

前回からオンライン開催となり、今回は当センターが司会進行の担当でした。オンラインということもあり、40名以上の参加者の意見等をまとめる難しさを痛切に感じました。特にPCを操作しながらの進行や、行き詰ったとき、すぐに周りに相談ができないことから臨機応変な対応が求められること等、会の準備も含めオンラインならではの大変さを学ぶ機会となりました。引き続きこのような経験を重ねていながら、就労支援の場でも活用していければと考えています。

地域で支えあう

台風などが心配される時期になりました。ご存知の方も多いかと思いますが、日本は世界でも自然災害が特に多い国でもあります。地震でいうと日本の国土は全世界の1%にも満たない広さですが、世界で起きている地震の2割は日本で発生しています。加えて自然災害による被害額は、全世界の被害総額の約2割を日本が占めているのは驚きでもあります。日々

の生活においても災害に備えることは大切なことです。

先日も新入職員を対象とした訓練用の水消火器をつかった体験の訓練を行いました。たまたま、作業の関係で利用者の方4名も参加することになりました。利用者の方が消火器を持って、職員がやり方を一つひとつ説明しながら消火できたことは頼もしさを感じました。

コラム「福祉の時をつかむ」

当法人の作業所は通所事業になりますので、作業が終われば利用者の方は自宅等に帰られます。利用者の方も年齢を重ね、なかには高齢の親御さんと暮らしている方もおられます。災害等から親子共倒れになることは憂慮に堪えないものです。自然災害等は身内だけ支えるのではなく、地域で支えあう仕組みが、ますます求められるところです。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

福祉作業所ひばり園では、東京都共同募金会からの助成をいただき、老朽化していた作業用の椅子を入れ替えることができました。ひばり園ではベアリングの組み立てや部品個装など、椅子に座っての作業が多いため、椅子の座り心地はとても重要です。支障をきたしていた昇降機能の改善や座り心地の向上、それによる疲労感の軽減が利用者みなさんの快適な作業活動につながることを期待します。

リサイクルショップくれよん

くれよんでは珍しい提供品も多く、ウェディングドレスも販売しています。大事にしているものでも誰かに利用してほしいという皆さまのお気持ちが多種多様な商品となり、掘り出し物が沢山ある楽しいお店になっています。

10/18(月)から秋物衣類半額セールを予定しておりますのでこの機会に宝探しをしてみませんか？是非お立ち寄りください。併せてご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。



福祉作業所スマイル工房

先月、防災訓練を行いました。以前は訓練の日を予告し、慌てないよう行動の基本を繰り返してきました。今では予告なしにサイレンが鳴っても、冷静に机の下にもぐり、机が無ければ物が落ちて来ない安全な位置で揺れが治まるのを待つことができています。パニックを起こすことなく速やかに避難することが出来るようになりました。毎回全員で行う訓練後の振り返りが活きているのだと感じます。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

退勤後や外出時、買物など用事を済ませ、帰宅してからだと遅くなるからどこかで食事をして帰ろうかなとなった際、20時を過ぎ飲食店が閉店していることが多く、夕食難民になることが多々ありました。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、必要なことではありますが、必要なお店が必要なタイミングで利用できない不便さも痛感する日々でした。テイクアウトなどお店側も柔軟に対応してくれていますから、利用する側も柔軟な発想や思考が必要なのですね。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512